

第2回横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和4年3月23日(水) 午前10時から11時30分まで
開 催 場 所	戸塚区役所8階大会議室
出 席 者	選定委員：西尾委員長、石井委員、落合委員、菊池委員、中嶋委員、中瀬委員、 福本委員 鷺見委員 事務局：松本福祉保健課長 渡辺事業企画担当係長、秦事業企画担当、宮内事業企画担当
欠 席 者	無し
開 催 形 態	公開 一部非公開 (傍聴者0人)
議 題	1 委員会の成立について 2 会議の公開について 3 審査手順及び各種照会結果の報告等について 4 面接審査 5 意見交換／講評 6 指定候補者の選定
決 定 事 項	指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）として、次のとおり、横浜市戸塚区長に報告することとする。 横浜市名瀬地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 朋光会 次点候補者：無し
議 事	1 委員会の成立について 委員8名のうち出席が8名と過半数を超えているため、本委員会は成立することを確認した。 2 会議の公開について 第1回選定委員会の決定事項のとおり、面接審査のプレゼンテーションについては公開とし、採点及び指定候補者の選定時は非公開とすることを事務局から報告した。 3 審査手順及び各種照会結果の報告等について 本公募の結果、1団体から応募書類の提出があった旨を事務局から報告するとともに、次の2点について説明した。 (1) 面接審査の進め方及び質問項目の確認

- ・面接審査から指定候補者の選定までの全体の流れについて説明。
- ・応募団体の採点方法や評価基準項目等について説明。
- ・1団体のみ応募となっているが、最低制限基準（「7前期の指定期間の実績」を除く満点の60%となる点。以下同じ。）に満たない場合は、再選定を行うことについて説明。

(2) 応募団体が欠格事項に該当しないことの確認

- ・「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警への照会
 - ・「横浜市税滞納がないこと」に関して、横浜市財政局への照会
 - ・「応募団体の財務状況」に関して、横浜市健康福祉局を通じて第三者機関が行った財務評価
- 以上3点の確認の結果、応募団体について資格要件を満たしている旨を事務局から報告。

4 面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(2) 主な質疑応答

(委員) 567 ファイブレンジャーズの関わりについて教えてほしい

(団体) コロナ禍の中での地域の活性化を図るために、歯科医師等と会議を重ねて、スタンプラリーを始めたのが567 ファイブレンジャーズを立ち上げるきっかけになっている。地域で実施しているフードパントリーにおいても協力体制が整っている。

(委員) 運営ビジョンと事業の優先順位を聞きたい。また、地域ケアプラザとして自主的に行ったものと地域の取組に協力したものを聞きたい。また、事業実施に伴う課題と今後の考えを教えてほしい。

(団体) 2025年には、団塊世代が高齢者（65歳以上）となるが、高齢者の中でも比較的若い世代に協力してもらい、地域の支援が必要になると考えている。また現役世代や高齢者・障害者が一緒に過ごしていくというための支援という点では、複数の分野にまたがって支援をすることができる地域ケアプラザが重要な役割を担っているため、優先順位が高い。

公園でのラジオ体操は、コロナ禍において高齢者が家に閉じこもりがちになっているという地域からの声を聞き、地域の協力を得て、実現できたものである。

栽培収穫ボランティアの活動については、地域の人たちに自主的にやっていただくにはどうしたらよいかということが課題。

また、セカンドライフを楽しもうという企画をしたが、なかなか応募者がいなかったため、どうしたら来たいと思っている人に気づいてもらえるのかが課題。

(委員) 小学生(子ども)を巻き込むということはとても良い取り組みであると思った。若い世代をターゲットにするにはSNSが有効になると思うが、具体的にはどのような手法で若い世代を巻き込むのか。

(団体) 地域ケアプラザのホームページに掲載し、zoomを活用したやり取りやLINEを活用して連絡をとるようにしたい。また、こども食堂やフードパントリーの開催を通じて顔見知りの関係を築いていきたい。

5 意見交換/講評 及び 6 指定候補者の選定

面接審査及び選定委員のうち財務に関する有識者と事務局からの追加説明を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計、意見交換及び講評を行った。

横浜市名瀬地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点
指定候補者	社会福祉法人 朋光会	1,869/2,360 点 うち最低基準対象得点 1,854/2,280 点
次点候補者	無し	

《審査講評》

- ・地域性を活かして地域との連携ができているのではないかと感じる。
- ・選定委員としては、事前に一度館内の見学ができるとよいかと思う。
- ・今回に限らず、プレゼンテーションを通じて実施したことを発表していただけるのはよいが、課題も発表していただけるとよい。

また、事業計画書が文章のみであったため、図やイラストを使っていたけるとよい。

・相談、声かけ事業の取り組みはよいと思った。子ども食堂立ち上げに関するニーズや課題が発掘されてくると思うので、今後の動きに期待したい。

・研修、職員表彰の部分は話を伺えると思った。地域ケアプラザは社会福祉法人の運営が多いと思うが、ケアプラザとして相談を聞いて、社会福祉法人としてどうすることができるかなど、施設との関係で変化や動きがあるとよいと思った。

・施設が主体となって、戸塚区で初めて地域の子育て会議とハートプランを連動させて実施した地域なので、今後の地域の活性化に期待している。また、プレゼンテ

	<p>ーションの中にあつた子ども食堂に関しては、ただ開催するだけではなく、参加者のなかから、今後担い手としてどれだけ関わってもらえるか、地域を巻き込んでいけるかの動きに注目したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を巻き込むのはどんな施設でも課題があると思うが、近隣の施設と横のつながりをつくるが必要になってくると思う。 ・地域ケアプラザの活動がなかなか情報として入ってこないのが、情報が耳に入るような取り組みもしてほしいと思った。 ・地域ケアプラザは包括的な身近な地域の窓口であるが、特性上高齢者支援に特化している。子育てこども市民活動などとの日常的な連携が課題になってくると思う。ハートプランがきっかけになり課題解決につなげられないかというところを期待したい。 <p>《その他の意見》</p> <p>(委員) 指定候補者の選定について、講評を一人ずつ行ったが、委員会としての意見をまとめて文書で指定候補者あてに通知しないのか。</p> <p>一つの設問で評価に開きがあるものがあるので、すり合わせを行い意見を合わせることを行う委員会もあるが、本委員会では行わないか。</p> <p>(事務局) 今回は各委員から出た講評・意見を集約して議事録に掲載する形式をとっている。今後の選定委員会では実施の方法を検討する。</p> <p>《評価結果》</p> <p>得点は、いずれも最低制限基準の60%以上であるため、選定委員会として指定候補者として選定することを決定する。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 面接審査について (2) 各種照会結果について (3) 施設への応募関係書類（一式） (4) 財務分析結果報告書 (5) 前期の指定管理業務の実績報告書 (6) 採点表 <p>2 特記事項</p> <p>特に無し</p>